



今治市は、穏やかな気候に緑豊かな山と美しい瀬戸内海という自然環境を生かして稲作、野菜、柑橘類などの栽培が行われています。住みたい田舎ベストランキングでは、2年連続全国1位となるなど、魅力的な街であると評価されていることから、近年、瀬戸内しまなみ海道の島しょ部を中心に、有機農業や自然農法での新規就農を目指す移住者も現れています。

当市は、約40年前から有機農業の機運が高まり、一部小学校で学校給食への有機農産物の導入が始まりました。それ以降、学校給食において、米を100%今治産特別栽培米に切り替え、パンについては100%今治産小麦を原料とするなど、地産地消を推進するとともに「日本一おいしい給食」に取り組んでいます。

また、「食と農のまちづくり条例」を制定し、地産地消の推進、食育の推進、有機農業の振興の3本柱を食と農のまちづくりの基本理念としています。SDGsを推進する今治市は、環境に配慮した有機農業の伝統を発展させ、さらに地域特性を生かしたオンリーワンの有機農業振興策を展開するため、ここに「オーガニックビレッジ宣言」をします。

令和6年3月26日

今治市長 徳永 繁樹